

# ==== 「不正ケシに関する情報」〔夏号〕 =====

宇部市都市政策部公園緑地課

令和5年度夏号として、山口県内で比較的多く発見・除去されている「アツミゲシ」の情報です。

ケシ科ケシ属の一年草です。

牧草地や畑、道端や空き地などに広く自生しています。

## 〔特徴〕

- ・花は、花びら4枚で、色は薄紫や赤があります。
- ・開花期の草丈は50cm~100cmです。
- ・葉、茎、つぼみなどの外観は緑色で、よく枝分かれ(分枝)します。
- ・ソムニフェルム種よりも毛が多く、つぼみの表面やつぼみの下の茎(花梗)には毛があります。
- ・葉は互い違いに茎につき、上部の葉は柄がなく、基部は茎を抱き込むような形をしています。



出展元: 栃木県薬務課 HP

## アツミゲシとヒナゲシの違い

違法なけし ❌

アツミゲシ

違法ではないけし ⓪

ヒナゲシ

花



つぼみ



「つぼみの表面はなめらか」  
「つぼみの表面と茎に毛がある」

「つぼみの表面に凸凹がある」  
「つぼみの表面と茎が毛に覆われている」

果実



「茎上部の葉は茎を抱き込む」  
「葉の縁が不規則なギザギザ」

「葉は茎を抱き込まない」  
「葉は深い切れ込みがある」

葉




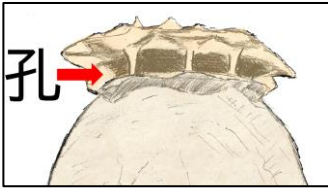
出展元: 厚生労働省「大麻・けしの見分け方」

◇アツミゲシの生育イメージ(生育状況は、気温や地域によりずれてきます。)

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アツミゲシのライフサイクル		開花期	結実期間				発芽期					
	生育期							生育期				

発芽期	・発芽時の状態でアツミゲシと特定することは困難	生育期	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・茎上部の葉は茎を抱き込む</li> <li>・葉の縁が不規則なギザギザ</li> </ul>
-----	-------------------------	-----	--

開花期	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・つぼみの表面はなめらか</li> <li>・つぼみの表面と茎に毛がある</li> </ul>	  <ul style="list-style-type: none"> <li>・花びら4枚で、色は薄紫や赤がある</li> <li>・開花期の草丈は50~100cm</li> </ul>
-----	--	--

結実期間	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9個の放射線のある柱頭が残る</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・果実は成熟すると上部に孔(あな)が開き、種子を外に出す</li> </ul>
------	--	---

出展元:厚生労働省「大麻・けしの見分け方」

◇アツミゲシは一年草で、駆除の最適期は、開花期が発見しやすく一番効果的です。夏に結実し秋に発芽します。発芽後は、冬に向けロゼット状となり、地表面で放射状に広がる特徴もあり、この状態で越冬しますので、見つけれましたら抜き取って適切に処分してください。

◇繁殖力は強く、抜き取ったあとそのまま捨ててしまうと自生して繁殖することがあり、ご自宅などで見つけた場合は、必ずビニール袋などで密封し「燃やせるごみ」として出すようにしてください。

◇ご自宅以外の場所で、新たにケシと疑わしいポピー類を見つけれられた場合や、不正けしに関してご不明な点等があれば、最寄りの県環境保健所又は警察署にご連絡してください。

◇この季節(5月~7月)の発見のポイント

夏のこの時期は、結実期で果実の中でたねを成熟させ、気温上昇とともに枯れが進み個体自体は枯死しますが、枯れた果実(房)の上部の隙間(孔)から種の放出がはじまります。

この時期は、疑わしいポピー類を発見した場合、果実(房)を摘み取り種の飛散を防ぐことで、繁殖を防止することができます。(乳汁で被れたりするのでゴム手袋をして作業してください。)

アツミゲシは、一年草なので種の採取と処分で基本的な駆除は完了しますが、枯死していない個体があった場合は、抜き取って適切な処分するようにしてください。